平成27年度活動報告書

会　員　名	酒田市			
活　動　名	『港でプロレス！』酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権の開催			
主　催　者	酒田港イベント実行委員会			
報　告　者	所属	商工観光部商工港湾課港湾空港係	TEL	[redacted]
	氏名	[redacted]	E-mai	[redacted]
協議会以外の共催・後援等	プロレス愛志隊			
実 施 時 期	平成27年10月18日（日）			
実 施 規 模	約200名			
実施事業費	160,000円			
実 施 概 要	活 動 全 般			
	酒田港イベント実行委員会は酒田港全体をフィールドとし、港の賑わいを創出し、ひいては酒田市の振興に寄与することを目的として各種イベントの企画・運営を行っている。本イベントは平成26 年9月に酒田港において創設された酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権王座(国土交通省酒田港湾事務所、山形県港湾事務所、酒田市商工港湾課協力)をかけて、平成27年10月に大日本プロレス選手によるプロレス大会を開催したもの。会場となる酒田市みなと市場特設会場は、「みなとオアシス酒田」のエリア内に位置し、普段から山形県唯一の離島である「飛島」への定期船利用や地元海産物を求めて多くの市民や観光客で賑わう人気のスポットとなっている。　今回のイベントでは、酒田市民及びみなとオアシス酒田を訪れる観光客から酒田港でのプロレスを楽しんで頂き、港の賑わい創出に取り組んだ。イベントの開催に関して、会場設営やPR 等を会場となる酒田市みなと市場内のメンバーで組織する酒田市みなと市場テナント会と実行委員会が連携して行った。また、市民ボランティアであるプロレス愛志隊の方々には準備と当日運営でご活躍いただいた。2回目の開催となる今回は、試合に加え、チャリティーイベントとして、選手私物のチャリティーオークションや子供及び女性向けのエクササイズ教室を大会開催前に実施した。			
	他の会員の参考となる新しい試み等			
	国土交通省東北地方整備局に認定された「みなとオアシス酒田」のエリア内を会場とし、港を冠とした日本で唯一のプロレスイベント。地元のプロレスを愛する有志の方々と酒田市みなと市場テナント会、ボランティアが協力してイベントの企画・運営を行い、地元酒田港及び「みなとオアシス酒田」の盛り上げに寄与した。			
実施にあたり苦労した点（今後他の会員が実施する上で注意する点）	会場が屋外のため、当日の天候によって参加者が大きく増減する可能性があり当日まで集客に不安を残した。雨天時に対応するため、代替施設となる屋内施設の確保も目指したが、大会は有料イベントのため、施設の利用料金が高いため断念した。天候に左右される屋外イベントについては中止の判断基準の整理も含めて荒天時の対応も十分検討が必要。			
参加者の反響（参加者の声）	酒田市みなと市場内の店舗と連携した試合内容など、ここ「みなとオアシス酒田」でしか見られないプロレスとして評価いただいた。終了後の選手たちとの交流会も好評で、遠くは横浜からもお越しいただいた。			
活動に対するPR内容	開催前に酒田市みなと市場内にて地元マスコミを集めて記者会見を実施。その他、市内企業等を選手と一緒にPRに回った。			
マスコミ等の反響	大会開催前の事前記者会見には地元のマスコミ数社が参加した。また地元情報誌にも掲載された。			
実施状況写真	別紙のとおり			

みなとオアシス酒田①

プロレス開催前の子供や
女性を対象とした運動教室

みなとオアシス酒田②

酒田限定レスラー「獅子王」
「赤獅子」コンビニよる
場外へのアクロバット攻撃

みなとオアシス酒田③

マグロの骨を使った凶器
攻撃

みなとオアシス酒田④

チャリティーオークションでは試合で使われたパイプイスと竹刀等が出品された。

みなとオアシス酒田⑤

酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権ではチャンピオン組が初防衛に成功。迫力ある試合が繰り広げられ多くの観客で賑わった。

みなとオアシス酒田⑥

会場を区切るために設置したシート